

第196回 IDT本輪読シリーズ 第26章

インストラクショナルデザインの職を得るために: 個人史からの教訓

定義 > 理論 > 評価 > HPI > 場面 > 世界 > **職業** > 最新 > 課題

- 幅広いスキルを取得しておくことは、雇用の機会を増加させる
- IDの領域内で自分の専門領域を持つ
- 高収入なものを含めて、ほとんどのID関連の職は経済産業界にある
- 学生のうちに始めて、ID専門学会の活動的なメンバーになる
- 就職活動の際には、先回りをする。幅広い情報源から求人を探す
- 仕事に応募する場合、おそらくその多くは、不採択になる可能性がある

応用問題1、応用問題2



幅広いスキルを取得しておくことは雇用の機会を増加させる

- 教育メディア作成のスキル

eラーニングやインタラクティブマルチメディアの領域における強いメディア制作のスキル...いまだに需要がある

- デザイン(と分析！)のスキル

ニーズ分析・課題分析・教授分析といった一連の分析スキル

- 管理スキル

多くのIDプログラムの修了生がいうことには、仕事を得た直後に、彼らは何かしらの管理的役割を担う

- コミュニケーションスキル

文書でも口頭でも、アイデアを明確に表現する必要がある。さらに、よい聞き手になる必要もある。

専門性を高めておく

- 多くの場合、インストラクショナルデザイナーを雇用しようとする組織は、この領域内の特定の分野でなにがしかの専門をもっている人を探している。(1970年代半ばのトレド大学)
- 大学院生である間にある領域の専門知識を発展させることで、特定の仕事に応募する際に、他の応募者よりも際立つチャンスが増加する。
- 専門分野...何年にもわたって需要が高いものを選択することが重要
- スキルや経験を示すいくつかの具体的な証拠(開発した教材, 教えた授業, 発表した論文など)を準備しておくこと

ほとんどのID関連の仕事は、経済産業界にある

- 高収入のIDの仕事のほとんどは経済産業界にある

私が教えているIDのプログラム(フロリダ州立大学)の修士課程修了生は、博士号を持ちそこで教授を7～10年間も務めている教員よりも高給で迎えられ、経済産業界での仕事を始める。

- ビジネスがどのように運用されているかを知る

経済産業界における仕事があなただの最も興味をひくものだと判断するならば、ビジネスがどのように運営されているか明確に理解することが重要である。フロリダ州立大学では、多くの大学院生が、経営学部が提供する「組織開発」などの大学院レベルの科目を履修することで、ビジネスと経営についての知識を身につけている。あなたが仕事をするようになるかもしれない環境をよりよく理解するためにあなたの大学の類似した授業で準備するとよい



あなたの認知度を上げる、専門家のネットワークの構築する

- 専門学会で積極的になる

2つのタイプの活動、「年次大会で論文を発表」、「学会内のさまざまなグループを支援」

専門学会で積極的に活動することによって、新しいスキルや知識を獲得でき、自分のスキルや知識を他者に示すこともでき、そしてキャリアを通して力になってくれる同僚とのネットワークを構築することができる。

- 温めるのではなく、出版する

「温める(Cherish)」の意味は、辞書によれば「何かに愛情を込めてしがみつ়くこと」とある。授業やプロジェクトのために書いた論文やレポートにしがみつ়くこと(もしくは放り出すこと)の代わりに雑誌論文に投稿することをお勧めする。



先回りする

- 就職面接への準備では、その雇用先についてできるだけ多くを知っておくようにすること

× 教授は私が専門にしていると公言した分野に特に関心がある人だった。最近そのトピックについて彼が執筆した論文を読んだかどうかを私に聞いてきた。私は彼の論文を読んでいない、と回答した。...面接の前にその分野での彼の仕事を調べていれば、私は彼に質問される前に彼の仕事について言及したり議論したりする準備ができていただろう。

- 関心のある分野での最新の先行研究に追いついておく

関心のある分野を扱ういくつかの論文雑誌の最新号2~3冊を検討するところから始めるのがよい方法である。あなたにとって流し読みをしておくにはどの雑誌が最も重要かを、教授に聞くとよい。



幅広い情報源から求人を探す

- 教授に自分が仕事を探していることを知らせる
教授はあなたが認識していない雇用可能性を知っている場合がある
- よい仕事ができることを教授に示しておく
もしあなたがよい仕事をすることを示すことができていなければ、教授があなたに職を勧めることはなく、それどころかその可能性を知らせることもなくなってしまうからである。一方で、もしあなたの仕事がよければ、教授はあなたがよい職に就くために動いてくれるだろう。
- ID関連の求人が掲載されている多様多種の情報源を利用する
careerbuilder.com, Monster.com,
[The chronicle of higher education](http://Thechronicleofhighereducation.com)の求人欄

不採択にも落ち込まない！挑戦し続ける！

- もし原稿が不採択になっても落胆しないこと

たとえ原稿が不採択になっても、査読者からは価値のあるフィードバックをもらえることが多い。もし原稿にいくつかの欠点を補う長所があるとフィードバックが示すならば、そのフィードバックを利用して原稿を修正することを私は勧める。

- 最初に応募した仕事に不採用になっても落ち込まないこと

私は最初に応募した仕事には不採用であった。残念ながら、同じことがあなたにも起こる可能性はあるので、準備はしておくように！

- 2つめに応募した仕事に不採用になっても落ち込まないこと

AECTの大会で、私は就職サービスに登録し、いくつかの論文発表を行い、いくつかの大学の教員と話もした(私の教授が私を隠そうとしていたにもかかわらず、である)。言い換えれば、今日の用語でいう露出度(high profile)を私は保った。そして私の人生で一度きり、私の露出度を功を奏したのだ。



応用問題1

- あなたは現在、この領域で仕事を探しているとする(おそらく実際にそうであろう!)
- 本章で紹介された求人情報のうち少なくとも3つを調べて、あなたが関心のある求人情報を少なくとも6つ見つけなさい。
- これらの仕事に必要なスキルとして、最も頻繁に言及されているものをリストし、あなたがそれぞれのスキルをどの程度持っているかを分析しなさい。
- そして能力の向上が必要だと感じる部分のスキルを高めるのにどうするか、段階を分けて列挙しなさい。



応用問題2

- あなたが所属する大学院を最近修了し、あなたの関心に近い仕事に就いている先輩を、少なくとも2人インタビューしなさい。
- それぞれの先輩に、仕事を得る上で助けとなった要因は何かを説明してもらいなさい。
- 本章で紹介された教訓のリストを手がかりとして使い、どの教訓が就職活動を成功させるのに重要だったかを先輩たちから聞き取りなさい

